

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー  
2020年度事業計画

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミーは、2020年度の事業計画に関する基本方針を次の通り定める。

I 事業計画基本方針

当財団は、2020年度において、以下の基本方針を掲げ、事業を推進する。

1. 財団事業の展開

定款に定められた当財団の目的に添って、キリスト教精神に基づき、立場の相違を越えた対話（はなしあい）を通し、自由、平等、正義、平和に基づく社会の実現に寄与する事業を活発に展開する。

2. 事業の推進

1) 公益目的事業

(1) 東・西活動センター

- ① 現行のフォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続、発展させる。
- ② 参加者同士の対話中心の宿泊プログラムを拡充する。
- ③ アカデミー運動の目的に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組む。
- ④ 得られた成果を機関紙による広報を超え、広く社会に発信する。基幹プログラムの成果は出版物として発行などし、知の蓄積を行う。
- ⑤ キリスト教精神に基づくものではあるが、未だに社会の共通認識を形成していない幅広い課題をプログラム化し、もってキリスト教系メディア、一般メディアの関心を高め、啓発活動を活発化する。

(2) 関西セミナーハウス

- ① 当財団の事業展開の拠点として、公益目的事業でのさらなる活用をはかる。また、当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊研修施設を諸団体、教育機関・学会・研究会活動等の使用に供する。
- ② 効率的な運営をはかり、公益活動への貢献度を高める。

(3) 広報活動

フォーラム事業、研修・セミナー・体験交流事業等の内容並びに各年度事業計画・予算及び事業報告・決算を機関紙「はなしあい」において定期的に報告する。同時に、東・西活動センターおよび関西セミナーハウスの活動状況については、ホームページ等によって積極的な情報発信を継続する。

## 2) 収益事業

### (1) 関西セミナーハウス

公益目的使用外の一般利用者、企業等への宿泊研修施設の貸出しを行い、その収益は原則として、公益活動への貢献、施設の補修、維持、向上等に資する。

### (2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を公益活動に資する。

## 3. 運営推進体制の安定化

公益目的事業の運営推進に当たっては、まずそれを可能とする財政の健全化を進める。継続的な事業に関しては明確な方向性と予算計画を持ち、プログラム毎の収支の整合化を原則とする。新規プログラムについても、必要財源を確保し、活動の安定的展開を目指す。

## 4. 賛助会員、寄附金の拡充

公益目的事業、広報活動等を積極的に展開して、アカデミーの理念の理解、浸透につとめ、アカデミー運動を支えようとする賛助会員及び寄附金の拡充を図る。

## II 関東活動センター2020年度事業計画

2020年度の関東活動センターは、日本クリスチャン・アカデミーの理念に基づき、以下のような諸プログラムを計画している。

1. 昨年度計画しながら諸般の事情で実施できなかった「今日的課題」Ⅰとして、子どもの貧困をめぐる現実、いじめ、不登校、引き籠もりに追いやられている若者たちの現状、情報過多の時代の諸ツールやフェイク・ニュースの問題、さらに現在の安倍政権の憲法改正に向けての動向などの諸課題を取り上げる。その際、マイノリティーセンター、YMCA 同盟、早稲田奉仕園、東京戦争を許さないキリスト者の会などとの共催プログラムの可能性を探る。
2. 「宗教対話」Ⅰとして、連続講座「教会と音楽～讃美歌を中心として」を10回シリーズで実施する。この企画は、3年間継続してきた連続講座「日本キリスト教史を読む」の受講者を主な対象とし、さらに教会音楽や讃美歌に関心を持つ人々の要望に応じて企画された。
3. 「宗教対話」Ⅱは、これまでに引き続き柏木義円研究会との共催で、柏木義円の現代的意義を問う公開講演会を実施する。
4. 「宗教対話」Ⅲは、「悪と苦難の問題」を、初代教父時代の考察から始まり、近現代の組織神学における知見を分かりやすく学ぶ新しい企画である。かなり難しい課題なので、最初受講生は少ないことが予想されるが、育てていきたいプログラムである。
5. 「宗教対話」Ⅳは、セクシャル・マイノリティーの問題を教会の課題として取り上げる新規プログラムである。LGBTの当事者だけでなく、教会や信徒の理解を得る

ために企画された。

6. 聖書を読む講座は、この間継続してきた山口里子氏による「新しい聖書の学び」の連続講座に加えて、上林順一郎牧師による「この時代の中で聖書からのメッセージを読み解く」を引き続き実施する。
7. 体験プログラムとして、昨年に引き続き「礼拝の言葉を豊かに」というテーマで、話し方ワークショップを月に一度のペースで開催する。礼拝の司式や聖書朗読、詩編交読、説教などの発声・発語の訓練を行う。
8. 各神学校の枠を超えた神学生たちの交流を目的とした「神学生交流プログラム」については、2020年度も各神学校の賛助を得て、第12回プログラムを実施する。また第1回から第10回までの講師の講演を編集し、新教出版社から報告書の出版を準備中である（6月頃刊行予定）。なお、この神学生交流プログラムの第1回から校長として協力して頂いた関田寛雄先生を囲む元参加者によるリユニオンも計画している。第10回までの参加者約150名（その多くは現在各地の教会に仕える牧師・伝道者として働いている）に呼びかけて、関西セミナーハウスを会場に第12回プログラムの前日から一泊二日で実施する予定である。なお、11回以降は、校長が交代し新たに神田健次氏（関西学院大学名誉教授）をお願いしている。

フォーラム事業			
関東フォーラム 今日的課題 I	第1回	「子どもの貧困と教会の役割 子ども食堂の取り組みから」	日時未定
	第2回	「フェイク・ニュースと情報 リテラシー」講師 未定	日時未定
	第3回	「閉塞した社会と若者たちの 生きづらさ」講師・未定	日時未定
関東フォーラム 宗教対話 I	全6回	「教会と音楽 讃美歌を中心 として」 講師 小海 基（日本基督教 団荻窪教会牧師）	第1回5月7日（木） 第2回6月11日（木） 第3回7月9日（木） 第4回9月10日（木） 第5回10月8日（木） 第6回11月12日（木） 第7回12月10日（木）
関東フォーラム 宗教対話 II		柏木義円公開講演会「国家と 教育 柏木義円の問い」 講師 坂井誠（柏木義円研究 会との共催）	11月14日（土）

関東フォーラム 宗教対話 III	全6回	「悪と苦難の問題を考える」 講師 本多 峰子 (二松学舎大 学教授)	第1回6月18日(木) 第2回7月16日(木) 第3回9月17日(木) 第4回10月15日(木) 第5回11月19日(木) 第6回1月21日(木)
関東フォーラム 宗教対話 IV	全5回	「教会とLGBT」 講師 中村 吉基 (「宗教と LGBT ネットワーク」代表)	第1回1月14日(木) 第2回2月18日(木) 第3回3月11日(木) 第4回4月8日(木) 第5回5月13日(木)
研修・セミナー・体験交流事業			
聖書を読む講座 I	全6回	「この時代の中で聖書からの メッセージを読み解く」 講師 上林 順一郎	第1回5月27日(水) 第2回6月24日(水) 第3回7月22日(水) 第4回9月23日(水) 第5回10月28日(水) 第6回11月25日(水)
聖書を読む講座 II	全10回	新しい聖書の学び「マルコ福 音書をじっくり読む」III 講師 山口里子 (日本フェミニスト 神学・宣教センター共同ディレクター)	第1回5月19日(火) 第2回6月16日(火) 第3回7月21日(火) 第4回9月15日(火) 第5回10月20日(火) 第6回11月17日(火) 第7回12月15日(火) 第8回1月19日(火) 第9回2月16日(火) 第10回3月16日(火)
話し方ワークショ ップ	全10回	「礼拝の言葉を豊かに」話し 方ワークショップ(ステップ・ アップ講座、初心者も可) 講師 友野 富美子 (日本基督教団経 堂緑岡教会副牧師、元声優)	第1回5月12日(火) 第2回6月9日(火) 第3回7月14日(火) 第4回9月15日(火) 第5回10月13日(火) 第6回11月10日(火) 第7回12月15日(火)

			第8回1月12日(火) 第9回2月9日(火) 第10回3月9日(火)
神学生交流 プログラム		第12回神学生交流プログラム 校長 神田健次(関西学院大学名誉教授)、講師 未定	2021年3月16日(火) ～18日(木)
神学生交流プログラム リュニオン		第1回～第10回の参加者に呼びかけて関西セミナーハウスを会場に実施予定	2021年3月15(月)～ 16日(火)

### Ⅲ 関西セミナーハウス活動センター2020年度事業計画

複雑に錯綜する現代社会の問題と取り組むには、宗教的信仰だけでは足りない。一方において、事柄の専門家と共に学際的な理解を深め、自らの判断力を形成する必要がある。他方、究極的な土台と価値判断基準を確立するために、宗教や倫理を深く学ぶことも欠かせない。この両面から、現代日本において自立した市民を育て支援するために啓発的教養フォーラムとセミナーを提供する。同時に、地域と社会に開かれた事業として、エキシメニカルな対話の場と機会とする。

1. 修学院フォーラム「社会」においては、歴史的側面から「日本キリスト教思想史」(戒能信生氏)から学び、「エネルギー問題」(第9回)を通して日本の将来の指針を探り、「キリスト教と政治的課題」(佐藤優氏)から、現代日本の政治社会問題の解決に向けて取り組む。
2. 修学院フォーラム「福祉」においては、「浦河べてるの家」で有名な向谷地生良氏を招き、「宣教と当事者研究」について学ぶ。
3. 修学院フォーラム「いのち」においては、賛成論と慎重論が拮抗する「このとりのゆりかご」について人見滋樹氏を招き、その理想と現実から学び共に考える。また超高齢社会となった日本で、「老いの日をいかに生き、支えるか」を今年度も探っていく。
4. 開発教育セミナーにおいては、人権・平和・環境などの地球的課題を参加型学習で学び、私たちの社会のありようを考える。
5. これらに加え、「お茶の心と宗教の心」では、「D.ボンヘッファー・セミナー」を開講し、お茶とその心に親しみつつ、「遺稿『倫理』を新版で読む」。さらに紅葉の美しい季節には、関西セミナーハウスの景観を背景に、お茶とお箏、美術、音楽を楽しむ「もみじまつり」を催す。

フォーラム事業			
修学院フォーラム 社会	第1回	日本キリスト教思想史 (仮) 講師 戒能信生 (日本基督教団千代田教会牧師)	5月12日 (水)
	第2回	エネルギーを考える第9回 なぜ原発を越えられないのか (仮) 講師 交渉中	2021年1月10日(日) ～11日 (月、祝)
	第3回	キリスト教と政治的課題 (仮) 講師 佐藤 優 (作家、元外務主任分析官)	2021年2月予定
修学院フォーラム 福祉	第1回	宣教と当事者研究 (仮) 講師 向谷地生良 (社会福祉法人浦河べてるの家理事) 京都 YWCA 他と共催予定	8月30日 (日) ～31日 (月)
	第2回	子ども・女性・若者の「貧困」 (仮) 講師 交渉中 京都 YWCA と共催	未定
修学院フォーラム いのち	第1回	「すべての命を大切に、こうのとりのゆりかご in 関西の理念と現状」 講師 人見滋樹 (NPO 法人こうのとりのゆりかご in 関西 理事長、京都大学名誉教授、日本胸部外科学会名誉会長)	5月16日 (土)
	第2回	老いの日をいかに生き、支えるか (4) 講師 交渉中	未定
研修・セミナー・体験交流事業			
開発教育セミナー	第1回	開発教育入門セミナー 共催 京都市国際交流協会	6月21日 (日)
	第2回	民主主義は終わるのか?～多数決・キャッシュレス・AI (仮) 講師 坂井豊貴 (慶應義塾大学経済学部教授)	7月18日 (土) ～19日 (日)

	第3回	中東の今とこれからの日本～紛争地のリアルから考える未来の選択 (仮) 講師 西谷文和 (ジャーナリスト)	9月26日 (土) ~ 27日 (日)
	第4回	在日外国人と共生社会～移民の歴史から学び直す (仮) 講師 アンジェロ・イシ (武蔵大学社会学部教授)	10月24日 (土) ~ 25日 (日)
	第5回	タネと国際協力～食料主権と私たちの暮らし (仮) 講師 松平尚也 (AMネット)	11月28日 (土) ~ 29日 (日)
	第6回	再エネ100%は可能だ!～適正技術と持続可能な開発 (仮) 講師 牛山泉 (足利大学理事長、日本技術史教育学会会長)	12月12日 (土) ~ 13日 (日)
お茶のこころと 宗教のこころ	全 1 2 回	ボンヘッファー・セミナー 「遺稿『倫理』を新版で読む」 講師 山崎 和明 (四国学院大学名誉教授)	第1回4月22日 (水) 第2回5月20日 (水) 第3回6月24日 (水) 第4回7月22日 (水) 第5回8月26日 (水) 第6回9月23日 (水) 第7回10月21日 (水) 第8回11月25日 (水) 第9回12月23日 (水) 第10回1月27日 (水) 第11回2月24日 (水) 第12回3月24日 (水) ~25日 (木)
もみじまつり		茶席、邦楽、美術展示、音楽鑑賞 関西セミナーハウスと共催	11月23日 (月、祝)

### Ⅲ 関西セミナーハウス2020年度事業計画

2020年度の関西セミナーハウス事業計画は、以下の通りである。

#### 1. 運営方針

- 1) 関西セミナーハウスは、当財団の基本方針に従い、公益事業への貢献に資するため、より一層事業での成果を求める運営を図る。
- 2) 組織的運営体制の整備、システム化、業務効率化、専門的業務の支援体制の充実、

職員スタッフの育成などを推進する。

- 3) 関西セミナーハウスは、減価償却費を含めた収支均衡を目指す。
- 4) 2020年度の設備投資は、長期的な設備投資計画に基づき、関西セミナーハウスの減価償却費の範囲内で優先順位を定め実行する。
- 5) 2018年2月に理事会が承認した当財団の「財政健全化計画」に対処する。
- 6) 利用者増を図るため、具体的な販売促進策を展開する。
- 7) リピート利用者の丁寧なフォローに取り組み、利用率の向上を図る。

## 2. 予算編成作業実施にあたっての留意点

- 1) 会計単位別の収支予算書に加え、関西セミナーハウスについては損益計算書を作成する。
- 2) 人的費用は、職員だけではなく、顧問、嘱託、パートタイマー及び臨時の雇用員までの全ての費用を把握し、予算に計上する。
- 3) 関西セミナーハウスは、公益目的事業、収益事業別の施設利用計画を作成する。

## 3. 主な数値目標

### 1) 収入計画 (P&L ベース)

売上高 109,085,000 円 (前年度予測比 103%)

営業利益 0 円

### 2) 設備投資計 12,460,000 円

### 3) 年間宿泊者目標 8,100 名 (前年度予測比 102%)

### 4) 年度期首要員 17 名

( 以 上 )